



せたがや 介護ネットニュース

第70号

発行日：平成31年3月8日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

介護ネット塾発表会に参加しました

平成31年2月22日に世田谷区福祉人材育成・研修センターで開かれた介護ネット塾発表会に参加しました。介護ネット塾は、長年にわたり世田谷区の福祉行政を牽引してきた秋山由美子前副区長を塾長として平成29年度に開講し2年目になります。全10回の講座は、事例などを通じて介護の基本を学び、また、それぞれの取り組みについて情報を発信する力をつけることを目的として構成されています。発表会は最後の実践発表の場です。

今回は9人の受講生が発表しましたが、それぞれ個性のある発表内容でした。具体的には、さまざまな困難を抱えた利用者を多職種連携で支援している事例、ダブル介護に取り組んでいる家族の支援、鍼灸マッサージによる運動器症候群（ロコモティブシンドローム）への挑戦、歯科衛生士が



取り組む多職種連携在宅ケア、小規模多機能型居宅介護最前線からの報告、疾患を抱える80代夫婦と50代息子が同居するケースの（8050問題）支援、園芸福祉を取り入れたデイサービスの効果報告、認知症グループホームにおける困難事例への取り組みの報告、障害者相談支援事業所の共生社会実現への取り組み事例が報告されました。今回発表されたすべての報告において利用者（患者）が中心に置かれていたことは、特質すべきことだと思います。とかく支援者の視点から支援者を中心に考えがちな支援の現場で、利用者を中心においた発表を構築するまでの間に、塾生間や講



師との多くの議論があったと推察されます。

今回の発表はその内容自体も優れたものでしたが、パワーポイントを巧みに使用した発表は、要点を的確にとらえただけでなく説得力も兼ね備えていたことが特筆に値すると思います。

介護ネット塾を始めたのは、介護の現場からの発信力を高めることです。人材不足が深刻な今般、介護や介護に関連する仕事の重要性和やりがいい、楽しいことと悲しいこと、難しさと達成感などを現場か



ら発信することが大切と考えたからです。

介護ネット塾は2019年度も開催される予定です。興味をもった人は是非チャレンジしてください。

NPO わかば 辻本きく夫

砧地域部会 カレーサラダ新年会報告

平成31年1月18日19時から成城ホール4階集会室CDで恒例のカレーサラダ新年会を行いました。

企画を開催するにあたり、今回の特色として「会員間の交流を深めよう」という目標をたて、会員に限定した新年会を準備しました。準備は砧地域部会の皆さんの協力もありなんとか当日を迎えることができました。新年会が始まる前から6つに分けたテーブルでそれぞれ名刺交換が始まり、「認知症カフェを始めたい事業所がすでに始めている事業所にノウハウを聞く・・・」というように個別の課題も含めて交流を深めることが出来ました。

アピールタイムも時間制限を設けましたが各団体の協力で時間オーバーすることも少なく、スムーズに行われました。今回はより交流が深まるようにと展示のアピールも設けました。飲み物や、食べ物を取るために席を立った時など、展示した掲示板の前で立ち止まる人も多く好評でした。いつも行うアンケートは新しい試みとしてアンケート集計の労力を軽減しようとQRコードを利用して、スマホを用い



て実施いたしました。集計の労力、結果がすぐに共有できるなどプラスの面もありましたが、反省会では「自由に書ける、スマホを持っていない人もいる」ので紙のアンケートも必要ではないかという意見も出され、今後の課題のひとつとなりました。このように砧地域部会では企画を通して介護ネットの会員で良かったと思えるような活動を目指したいと考えています。

砧地域部会代表 草野健朗

北沢地域部会 新年会に参加して

平成31年1月11日アライブ世田谷代田にて開催した新年会には新年最初のご挨拶ということで、36名というとても多くの方々が参加されました。

私も初めて参加させて頂き、介護現場で頑張っている方、介護職以外の職業の方、地域住民の方々をはじめ地域を支える様々な方々と、お会いできたことはとても有意義な時間を過ごさせて頂きました。それぞれ業種や世代、立場も違えど、何でも相談ができる場があるということはとても良い事だと思います。



定例会や新年会等をアライブ世田谷代田で開催して頂くということをととても光栄に思っております。引き続き宜しくお願い致します。

アライブ世田谷代田 小町谷 裕子

サ責ランドの報告会と懇親会に参加して

サ責ランドの報告会が平成31年2月8日（金）世田谷区福祉人材育成・研修センターで行われました。

「サ責ランド」とは、訪問介護連絡会が今年度の試みとして企画した、サービス提供任者が日々困っている事、悩んでいる事をお茶を飲みながら話せるざっくばらんな意見交換会です。

業務が忙しくなかなか研修に参加できない、そんなサ責の皆さんが集えるよう、今年度は『改正老計10号』対応について、3か所の地域で同じ内容を行い、多くの方たちに参加いただきました。そして、現場のサービス提供責任者の声を毎回、世田谷区介護保険課係長にお伝えし、回答いただいた見解を“サ責ランドのまとめ”として資料が配布されました。結論として、仕事上の問題点は、サービス提供席責任者が随時ケアマネに「根拠のある報告」をし、話し合っていくことが大切だということがわかりました。

そして、今年度の最後に3回分のまとめの報告会、そして日ごろ集えないサービス提供責任者の皆様との懇親会を企画しました。

当日の参加者には、医師、成年後見、記者、ケアマネ等の方々も参加してくださっていたので、介護の現場にかかわる多職種の方々の介護の連携に関する素朴な疑問にも答えて下さいました。その中で今後のサ責ランドの方向性も見えてきました。そして、懇親会も参加して下さり熱い会話が交わされました。

・ヘルパーができる医療行為や口腔ケアについて変化している。

・服薬に仕方、利用者の変化等、みんなの気づきを大切に、すぐ連絡し連携を深めたい。



・成年後見の方も担当者会議に参加したい、現場の気づきが大切。

・介護保険制度にサ責にもするべき仕事があり、ケアマネには毎回研修・指導があるのにサ責には課せられた研修がない。サ責に研修の機会が欲しい（ご参加くださった研修センターより、研修センターで実施しているとお伝えいただいた）サ責がきちんと根拠を伝えることができるように、もっと勉強しなくてはならない。“サ責”というものを世間に認知してもらえるように、今後もサ責ランドを積み重ねていきたいと思いました。

訪問介護連絡会副代表 塚原洋子



研修グループ “癒しの研修”

「歌って笑って明日への活力にしよう！」～笑う門には福来る～開催しました

タイトル通りたくさんの笑い声と笑顔が溢れた研修になりました。

さとう GO さん1分間で「津軽海峡冬景色」「酒を飲もう」「365歩のマーチ」を歌い（あ～あぁ津軽海峡酒を飲んで歩け～）最初の大爆笑をとりました。GOさんは普段はデイサービスの相談員をしていて介護支援専門員の資格も持っています。奥様も福祉関係の仕事をしてながら時々ライブ活動に参加されるそうです。

安楽亭くしゃみさん。ご存知松沢病院の新里先生で

す。飄々としたたずまいで「創作落語」は普段の診察室の風景を、古典落語は「寿限無」を演じてくださり参加者の皆さんも最高の笑顔でした。新里先生、次週は通所部会企画「認知症」の研修がありますと“告知”し、またまた皆さんの顔が和みました。

こんな楽しい企画また参加したいという声がありうれしかったです。

研修グループ 宮川英子



せたがや通所連絡会研修会「認知症の医学的理解」報告

平成 31 年 2 月 20 日（水曜日）に、せたがや通所連絡会主催による認知症研修会を開催しました。当日は 55 事業所から 65 名と非常に大勢の方にご参加頂きました。講師は昨年と同様に東京都立松沢病院 認知症疾患医療センター長 新里和弘先生をお迎えしての講演となりました。

講演では 4 大認知症（アルツハイマー型認知症、レ



ビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症）を中心に早期の症状や状態の特徴から経過など基礎的なことから専門的な医学知識までお話頂きました。また認知症の方への対応の心得についても説明く



ださり、お互いがイライラしない様に長く上手に付き合っていかなければならないことなど学びました。

次回は 3 月 20 日（水）19:00~20:30 世田谷区福祉人材育成・研修センターで情報交換会「デイサービス・デイケア運営の工夫」を予定しております。通所事業所以外のご参加もお待ちしております。

通所連絡会では幹事を随時募集しており、介護研修に興味がある方や他事業所と情報交換したい方は気軽に声を掛けて頂けたらと思います。

ろうけんくがやま 和田拓也

烏山地域部会 第 3 回「障害者支援事業所との交流会」報告

平成 31 年 2 月 21 日烏山地域部会では第 3 回「障害者支援事業所との交流会」を開催しました。今回はケアマネと相談支援の方が多く少人数ながら熱のこもった交流会となりました。

最初に理学療法士の坂本さんから「先天性と後天性の違い」について動画を交えて話していただき、普段高齢者対応している介護保険のケアマネからは驚きの声が上がリ、坂本さんは質問攻めとなりました。

なるほどと思ったことは、障害者は「まだ経験していない動作を習得する」高齢者は「1 度、獲得していた動作を再度獲得し、獲得していく」というリハビリの考え方の違いでした。



特に烏山地域には松沢病院、烏山病院があり 65 歳になり介護保険に移行してきた方がちらほらいることから

現実の困り事としてのグループでの話が多いようでした。知的障害、身体障害の方がいきなり高齢者のデイに行き対応が難しく苦労しているとのこと。障害の相談員からは無理に高齢者の通所に変えなくてもいいとアドバイスがあり「そうなんだあ」とほっとする顔もみられました。共生への道のりはまだまだ遠いのでしょうか？



会場は烏山にある「やさしいて」のデイを貸していただき、おいしいサンドイッチと唐揚げ、しかも素敵なフルーツの盛り合わせを提供して下さった「やさしい手レストラン部」の皆様ありがとうございました。

これからも障害事業との共通理解のためこの企画は継続していきたいと思いました。

烏山地域部会 宮川英子

介護ネットマラソン有志会

冬はマラソンのシーズン！介護ネットマラソン有志も様々な大会に参加し介護ネットのアピールをしています。大内剛さんと優澄くんも新宿シティーハーフマラソン・区民健康マラソンに参加し、頑張って完走しました！

Race Results (マラソン有志大会結果 ネットタイム)・大内剛・優澄：新宿シティーハーフマラソン 2km ファミリーラン (16分53秒)・酒井美知子：イヤーズエンドマラソン ハーフ (2時間18分50秒) マラソンフェスティバル in 国営昭和記念公園 10km (58分27秒)・橋元晶子：西東京30K 30km (2時間50分21

秒) 新宿シティーハーフマラソン ハーフ (1時間52分36秒) 青梅マラソン 30km (2時間46分03秒)

私たちは有志として一年近く活動し、仲間と助け合って走る

ことの楽しさ、そこから生まれる連携を強く体感してき

ました。また1人ではなかなか継続できない練習も仲間によって続けられることによって継続でき成果をあげる事ができています。このすばらしさを伝えたいと思



い、1月18日には砧地域部会のカレーとサラダの忘年会に参加しアピールしました。3月16日砧地域ご近所フォーラムでもアピール予定です。また、今後も活動を長く継続できるよう来年度はサークルとして活動できるよう準備を進めています。走ることに興味のある方は運営委員会代表徳永さん (nobu-toku@nice-care.co.jp) まで連絡をお願いします。



研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

◆【砧地域会】☆

1) 砧地域ご近所フォーラム

平成31年3月16日(土) 10時～16時45分

会場：成城ホール

・ご近所カフェ～ユトリアル～ (4階)：

10時～16時45分(お薬相談11時～12時30分) みんながほっこのんびりできる無料休憩所です。

・特別企画 (4階)：10時～12時

・フードドライブ (1階受付)・販売 (支所前)：12時～(販売は売切れ次第終了)

・展示説明・発表と意見交換タイム (1階ホール内)：12時30分

・玉川薬剤師会・世田谷区リハビリテーション連絡会・NPO法人コミュニティカウンセラー協会・介護ネットの4団体による相談コーナーもあります。

2) 介護相談・福祉用具展示 (電動車イス試乗等)

平成31年3月16日(土) 10時～16時45分

会場：成城ホール集会室A・B 平成30年9月21日(金)
18:30～21:00

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

1) 多職種で学ぶ対人援助技術研修【第4回】

障害の理解とコミュニケーション～大人の発達障害～

平成31年3月11日(月) 13:00～17:00

会場：三茶しゃれなあどホール オリオン

2) 多様性を認め合いより良い支援を目指して

～性的マイノリティの理解のために～

平成31年3月14日(木) 18:30～20:30

会場：三茶しゃれなあどホール オリオン

※研修にはそれぞれ対象者が決まっております。詳細はホームページをご確認ください。

☆印のイベントの問い合わせは、事務局まで。

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団
世田谷区福祉人材育成・研修センター